

小野嘉雄講師略歴

口主な経歴

1. 昭和36年4月 (社) 日本能率協会入会経営コンサルタントとして企業の支援に従事。

- ・生産システム設計技法の開発とその普及、指導。
システム開発技法としてFN法の開発
- ・ロボットによる生産システムの開発、指導。
- ・エネルギー効率化技法の開発とその普及、指導。

(社) 日本産業用ロボット工業会事業に参加。

2. 昭和50年12月 (株) 日本エンジニアリング研究所設立。代表取締役として従事。

- ・経営効率化技法としてMAP法の開発、普及、指導。
- ・コンピュータによる小集団改善活動プログラムの開発と普及、指導。
- ・(社) 日本産業用ロボット工業会の関連事業として、ファクトリーオートメーションの普及を目的とした組織「【ROFA】の活動として、
全国テクノポリスにおけるファクトリーオートメーション教育研修の実施。
- ・中小企業事業団に参加。
「ロボット導入のシステム設計に関する研究」「ロボット導入の実務―日刊工業」
- ・(社) 日本産業用ロボット工業会事業として、
「パーソナルロボットシステムの策定研究の受託研究」

3. 昭和62年4月 ナレッジエンジニアリングインステテュート設立。

代表取締役として従事。

企業における製品、技術開発活動の強化支援を目的として、必要な「方法工学」の開発と提供を柱とした事業を行う。

- ・平成2年「経営技術開発賞」を受賞。
- ・平成5年「外段取り型技術開発活動強化法」を研究。
- ・CALS EXPO Internajona1 1 997で「TBMプログラム」を発表。
Timing Based Managementプログラムとして商品化し、企業の開発スピード、開発テーマ創出、開発戦力強化および開発技術経営手法の普及。
特に、「開発、技術部門人材教育を重視し、「技術と経営塾」を開設し、講座を提供。

4. 平成13年企業における「技術総合力の評価法」開発、商品化。

- 多くの企業による「試行」を経て「TIMEプログラム」を商品化。
- ・2004年より、一般企業で実践出来るプログラムとして提供する。
 - ・「技術カドック」の開設。
企業の技術力を4つの要素で評価する。
①テーマカ、②プロセスカ、③リソースカ、④マネジメントカ

5. 平成22年6月 ケーイー・ソリューションズ(株)設立に参画。 取締役役に就任。